研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名： 開胸心臓手術患者における術前のサルコペニアスクリーニングと入院関連能力低下（HAD）の関連
研究期間：2025 年 5 月 1 日～2025 年 8 月 31 日
対象材料： □病理材料（対象臓器名：　　） □生検材料（対象臓器名　　） □血液材料 □遊離細胞 ■その他（診療録の情報　　） 上記材料の採取期間：　2021 年 4 月　～　2025 年 2 月
意義： 心臓血管外科領域において入院関連能力低下（Hospitalization-Associated Disability：HAD）は予後規定因子とされている。また、開胸心臓手術後の HAD に関連する因子として、年齢や術前の身体機能、術後のリハビリテーション経過が報告されている（Hori，2021、Sugiura，2022）。しかし、術前のサルコペニアスクリーニング（SARC-F・SARC-Calf）と HAD の関連の報告は渉猟し得た範囲では明らかではない。術前のサルコペニアスクリーニング（SARC-F・SARC-Calf）と入院関連能力低下（HAD）の関連が明らかとなれば、術後経過の予測に役立てることができ、術後リハビリプログラムを決定するうえで有益である。
目的： 開胸心臓手術前のサルコペニアスクリーニング（SARC-F・SARC-Calf）と入院関連能力低下（HAD）の関連を明らかにすること。
方法： 当院の患者データベースおよび電子カルテより後方視的に通常診療の範囲内で得られる患者基本情報や医学的情報、治療経過、リハビリテーション経過、退院時の身体機能評価を診療録より収集する。
個人情報の取り扱い： 患者様の個人情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用する。また、研究成果を理学療法関連雑誌に論文投稿するが、患者様個人を特定できる個人情報は含まない。
問い合わせ・苦情等の窓口： 〒７５０－８５２０ 山口県下関市向洋町一丁目１３番１号 下関市立市民病院　リハビリテーション部　月城　一志 TEL　０８３－２３１－４１１１　　FAX　０８３－２２４－３８３８